第２号　令和２年１０月１５日発行

品川区庁舎機能検討委員会　ニュース

第2回 品川区庁舎機能検討委員会が、令和2年9月9日（水）、区役所で開催されました。本紙では、新庁舎の機能について具体的な検討を行う「品川区庁舎機能検討委員会」の様子をお伝えしていきます。

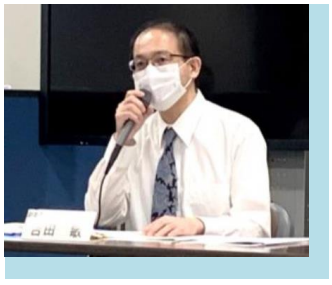
第2回から第4回まで、具体的な庁舎機能の検討を実施します。

委員会の概要

委員会では、新庁舎事業の進め方、庁舎機能の６つの分類案について事務局から説明を行いました。

また、第2回の検討テーマとなる防災と環境に関して、「現状と課題」、「あるべき姿」、「整備事例」の説明を行い、出席した委員全員から意見をいただきました。

分類した機能	導入機能・検討の視点		
区民サービス	●窓口機能　●相談機能　●案内機能		●ユニバーサルデザイン ●ICT化やペーパーレス等の環境整備 ●セキュリティ対策 ◀ 第2回のテーマ
区民協働・交流	●協働・交流機能　●情報発信機能		
行政・議会	●執務機能　●会議機能　●議会機能		
防災	●災害対策機能	・災害対策本部機能 ・地域内輸送拠点機能 ・災害時の区民受け入れ機能 ・建物性能、バックアップ機能	
環境	●環境への配慮	・環境性能 ・省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの活用 ・周辺環境への配慮	
将来対応・経済性	●ライフサイクルコストの低減 ●将来の変化への柔軟な対応		



はじめに

冒頭で吉田副委員長より「今回は要望する機能をまとめる段階ですので、何が欲しいのか、どういう要望があるのか、各お立場から自由にご発言いただければいいと思います。一つだけ注意していただくとすれば、今年度中に要望にあたるものは言いつくしてください。」と各委員へのアドバイスをいただきました。

委員からの主な意見

求められる庁舎機能	（防災）　区民の安心・安全を支える防災拠点となる庁舎

○自然災害と感染症拡大の複合災害のリスクにも配慮する必要がある。
○新庁舎に担わせる機能と、他に分散する機能を区分けして、基本的なコンセプトをしっかりと持った方が良い。
○防災体験館など防災普及啓発機能も検討してほしい。
○庁舎が高層の場合、部署の配置や災害時の機能維持等も考慮しなければならない。

求められる庁舎機能	（環境）　環境にやさしい低炭素型の庁舎

○ＺＥＢやＣＡＳＢＥＥにおける、高い環境性能を目指してほしい。
○自然採光、自然通風の活用など、構造上のアイデアを実現できる地道な仕組みを取り入れてほしい。
○残業や紙資料を減らすことも有効な環境対策である。
○環境設備の技術進歩やメンテナンスなどにかかるコストも考慮しなければならない。

委員会の開催スケジュール

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
7月13日	9月9日	11月16日	1月頃	3月頃
庁舎機能の検討				
		導入機能のまとめ		
	今回	令和2年	令和3年	答申

※委員会は全5回の開催を予定。

コラム

わ！しながわ

庁舎内で写真展「品川いまとむかし」を行った。
昭和４４年５月１９日

次回案内

第3回品川区庁舎機能検討委員会
日時：*11月16日*（月）午後1時30分～
場所：第一委員会室（区役所議会棟6階）
内容：庁舎機能の検討

※第2回品川区庁舎機能検討委員会に関する資料はこちらから☞

お問い合わせ

品川区 総務部 経理課 庁舎計画担当
連絡先　電話：03-5742-7801
FAX：03-5742-6873
mail： keiri@city.shinagawa.tokyo.jp